

風のてのひら

～南高だより No. 137～

令和6年1月26日発行

発行責任者：長崎県立五島南高等学校

校長 西平 耕治

「校長室の窓から」

「航空機事故から学ぶ」

2024年がスタートしました。今年は年明けから震災や航空機の事故が連続し、不安な気持ちで年始を過ごされた保護者・地域の皆様も多いのではないかと思います。被災や事故で亡くなられた方々のご冥福と、被災地の一日も早い復興をお祈りしたいと思います。

冬休み明けの全校集会では、航空機事故に対応した客室乗務員（以下CA）について、次のような話をしました。「今回の事故では、乗客乗員の全員が無事に脱出できたことが、海外のメディアでも称賛されていました。万が一に備えた訓練を決して疎かにしなかった職員一人一人の真面目な取組の成果だと思います。私自身を振り返ってみると、搭乗時にCAさんが行う緊急時の説明をこれまで真剣に聞いていたかどうか…大いに反省しています。皆さんも今回の事故を教訓として『自分だったらどう行動したか、これからどう行動すべきか』という視点で考えてみてください。」

海外の人からは「日本人は真面目過ぎる」という指摘をよく受けます。元サッカー日本代表監督のトルシエ氏は、真面目でルールに縛られる日本選手に対し「車が通っていないのになぜ赤信号で止まるのか？」と、日本人の真面目さを批判しましたが、今回の事故では、日本人の真面目さや規律性（規則を守ろうとする力）が多くの人命を救うことにつながったことも事実だと思います。

一方で、事故機後方からの脱出については、機長と連絡が取れなかったCAさんが独自の判断で行ったことも報道されていました。脱出シューター（すべり台）を降ろしても地面に届かなかった場合、けが人や死者が出る恐れがある。一旦ドアを開けてしまうと乗客が殺到して制止するのは不可能。混乱の中でも冷静に、かつ勇気をもって決断したのだと思います。もしこの行為により死者やけが人が出ていた場合、このCAさんに対する非難の声が上がったのではないのでしょうか。今回の奇跡的ともいえる事故対応は、日本人が本来持つ「真面目さや規律性」と、これまでの日本人に欠けていた「判断力や決断力」がそれぞれ必要な場面で発揮されたからこそ実現したのだと思います。今回の事故は、空港における危機管理上の課題を教えてくださいましたが、その他にも、私たち教育に携わる者が教訓とし、学ぶべき点があると思います。万が一の時にどう行動するか、ご家庭や地域でも話題にされてみてはいかがでしょうか？

さて、話題は変わりますが、1月21日（日）に開催された第29回全国都道府県対抗男子駅伝では、本校3年生の川原琉人君が1区を力走し、19分31秒の区間新記録で区間賞を獲得しました。テレビではスタート前に川原君のインタビューが放映されるなど、全国の注目を集める中、期待通りの走りを全国の舞台上で披露してくれました。川原君の快挙を讃えるとともに、本校関係者はもちろん、地域全体で喜びを分かち合いたいと思います。走り終えた川原君は「地域の人たちに対し恩返しができ、安心しました。」と語っていました。地域の皆さまへの感謝の気持ちが伝わってくる川原君らしいコメントでした。今後とも応援のほど、よろしくお願いします。

ヤング講座（消費者支援）

1月11日（木）に3年生を対象として、ヤング講座が開催されました。五島市消費生活相談員の畑中様から、クーリング・オフ制度や若者の相談例などについて説明していただきました。生徒は、「賢い消費者」となる知識を学び、消費者としての自覚を深めました。



表彰

「税に関する高校生の作文」に応募し、中浦真さん（3年1組）が「法人会会長賞」、松本友香さん（3年2組）が「間税会会長賞」に選ばれました。賞状と記念品が授与されました。



壮行式

1月16日（火）に、全国都道府県対抗男子駅伝に出場する、川原琉人さん（3年2組）が決意表明を行いました。21日（日）の大会当日も見事な走り、長崎県チームに貢献してくれました。



～2月の主な行事予定～

- 1日（木）入学者選抜（前期・離島留学）生徒は自宅学習
- 6日（火）考査時間割発表（1・2年）
- 8日（木）ふるさと教育実践報告会
進路ガイダンスセミナー（1・2年）、3年登校日
- 9日（金）服装頭髪指導、第3回PTA役員会
- 13日（火）第4回考査（1・2年）[～16日（金）]
- 15日（木）3年登校日 21日（水）式場設営
- 22日（木）3年登校日 28日（水）3年登校日
- 29日（木）卒業式予行、同窓会入会式、大掃除

ご相談やお気づきがありましたらいつでもご連絡ください。

五島南高校

電話 0959-82-0132

FAX 0959-82-0185

